

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2024年 第188号 令和5年12月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事 ^{対談!}

一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター
と市議会



特集記事(対談)	2・3P
審議結果・トピックス	4～6P
委員会活動等	7～9P
一般質問	9～13P
きみの未来、あなたの未来	14P
議会のうごき 編集後記	

令和6年2月
広報広聴
常任委員会
0470-73-6662

特集記事

一般財団法人 千葉県勝浦 海中公園 センターと 市議会

特集記事第35回は、一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター職員の皆さんとの対談です。
海中公園の歴史や活動について語っていただきました。



美しい自然と、温かい人々が暮らす勝浦。

【海中公園の設立経緯について教えてください】

●勝浦海中公園が位置する勝浦市鵜原地区は、昭和49年に自然公園法に基づき勝浦海中公園地区として指定されました。そして昭和52年2月、海中公園の保護と、外房地域の観光拠点、レクリエーション施設の整備などを図ることを目的として、千葉県と勝浦市、鵜原漁業協同組合（現新勝浦市漁業協同組合）の三者により、財団法人千葉県勝浦海中公

園センターが設立されました。その後、平成25年4月に一般財団法人に移行し、現在に至ります。

【海中公園の概要について教えてください】

●海中公園のメイン施設である海中展望塔は、昭和55年9月に完成し、同年の11月から営業を開始しました。展望塔は鉄骨鋼板製の円筒構造で、高さが24.4メートル、重さが約1千トン、水深は8メートルあります。

その他、事務所が入居する管理棟があります。

【利用客増加のためどのような取り組みを？】

●今一番注力しているのが、新しいお客様の開拓です。そのため、近隣の宿泊施設や道の駅、レジャー施設等に対し、入場料金の割引券付きパンフレットを配布しています。また、SNSによる情報発信にも力を入れており、ホームページ、X（旧ツイッター）

ターやインスタグラム等を利用し、当日の海中の透明度や観察可能な魚の種類、映像等の配信をしています。さらに、テレビや雑誌等の取材に対して積極的に協力することにより、メディアへの露出拡大、PRを図っています。

【活動していて大変な事や嬉しかった事は？】

●海中公園センターの仕事は、荒天の日を除きまして、年中無休で営業しています。自然が相手なので、晴れていても、強風が吹くと安全第一のため営業を見合わせたり、臨時休館にしないといけないということがあるため、楽しみにしていたお客様の入場をお断りすることもあり、申し訳ないという気持ちになります。嬉しいときは、お客様に自然の魚が見られてすごく楽しかったと言ってもらえたり、SNSで海中展望塔の状況を発信すると、いいねをもらえたり、コメントをいただくとても嬉しく感じます。

【勝浦市の魅力や課題について】

●勝浦は、山があつて、また海があつて、自然が豊富であるということ。また、勝浦に住んでいる人たちが温かいということが、魅力であると感じています。勝浦市の課題ですが、働く場が少ないこと、生まれ育った地元の子どもや国際武道大学生などの若者が、学校を卒業して市内に就職できれば、多少なりとも人口減少を食い止めることができるのではないかと思います。

【今後の抱負や目標を教えてください】

●目標は、入場者数を増加させることです。入場者数は施設オープン翌年度である昭和56年度の61万8千人をピークとして、年々減少し、令和2年度に6万8千人まで落ち込みました。その後、現在は年間12万人程度まで回復し今年度も昨年度を上回るペースで推移しています。海中公園、海中展望塔は勝浦市を代表する観光スポットの一つでありますので、今後とも関係機関と連携して、各種イベントの開催や、旅行者への宣伝等をこれまで以上に積極的に

行い、より多くのお客様にご来場いただけるよう取り組んでまいりたいと考えています。



植村 仁 次長



菅野 健司
常務理事(兼)所長

令和5年12月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○12月定例会 会期 12月4日から12月14日まで11日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件 名	付託委員会	結果
議案第51号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度勝浦市一般会計補正予算について)		承認
議案第53号	勝浦市公共施設等整備基金条例の制定について	総務文教	可決
議案第54号	勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第55号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第57号	令和5年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教 及び 産業厚生	可決
議案第58号	令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第59号	令和5年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第60号	令和5年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第61号	市道路線の認定について	産業厚生	可決
議案第62号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務文教	可決
議案第63号	令和5年度勝浦市一般会計補正予算		可決

議会報では、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

議案の賛否(賛否が分かれた議案のみ掲載)

議案 番号	件 名	付託 委員会	審議 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				戸部 薫	渡辺 ヒロ子	岩瀬 琢弥	長田 悟	岩瀬 清	鈴木 克巳	狩野 光一	久我 恵子	寺尾 重雄	戸坂 健一	岩瀬 洋男	松崎 栄二	末吉 定夫	佐藤 啓史	岩瀬 義信
議案 第52号	勝浦市副市長の定数の特例に関する条例の制定について	総務 文教	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
議案 第56号	勝浦市芸術文化交流センター設置管理条例及び勝浦市コミュニティ集会施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について	総務 文教	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席(棄権)、「除」は除斥、「—」は議長を表します。

※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

●トピックス その1

「書かない窓口」で窓口での手続き負担軽減！！

窓口業務のデジタル化により、1月15日から、市役所1階の市民課、高齢者支援課、福祉課、税務課での一部事務手続きや証明書請求の際に手書き書類の記入が不要となります。

本人確認書類(マイナンバーカードなど)を窓口へ提示すると、職員が用件を聞きとって書類を作成、その内容を確認することで手続きが完了するようになります。

●トピックス その2

搬入されるごみ処理に迅速に対応。

一般会計補正予算(第8号)を全会一致で可決。

※令和5年11月23日、焼却施設の故障が発生し焼却機能が停止。

損傷個所の修繕及び外部へのごみの搬出等について、予算の執行残をふまえつつ必要な経費・財源について補正予算を編成、可決しました。

※予算総額は61,539千円。内訳は、清掃センター工事請負費・維持補修工事費、一般廃棄物収集運搬費などが主な事業内容です。

●トピックス その3

出産する被保険者の国民健康保険税の所得割額及び均等割額が減額されます。

議案第55号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

主な改正内容

出産する被保険者の産前産後期間相当分(出産予定月の1か月前から出産予定月の翌々月までの期間)の所得割額及び均等割額が減額されます。

※多胎妊娠の場合は出産予定月の3か月前から

ポイント1. 原則として世帯主からの届出によります。

ポイント2. 施行期日は、令和6年1月1日から

ポイント3. 均等割額については、概ね3割(単胎出産の場合)が減額されます。

ポイント4. 所得割額については、所得額によって変わります。

詳しくは、税務課までお問合せください。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

- ・議案第52号 勝浦市副市長の定数の特例に関する条例の制定について
- ・議案第53号 勝浦市公共施設等整備基金条例の制定について
- ・議案第56号 勝浦市芸術文化交流センター設置管理条例及び勝浦市コミュニティ集会施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第57号 令和5年度勝浦市一般会計補正予算(所管事項関係)
- ・議案第62号 夷隅郡市広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

以上の5件の議案が付託され、12月11日に委員会を開催致しました。審議の結果議案第52号、56号については賛成多数で原案のとおり可決、議案第53号、57号、62号については全員賛成で原案のとおり可決しました。

産業厚生常任委員会

- ・議案第54号 勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第55号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第57号 令和5年度勝浦市一般会計補正予算(所管事項関係)
- ・議案第58号 令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
- ・議案第59号 令和5年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・議案第60号 令和5年度介護保険特別会計補正予算
- ・議案第61号 市道路線の認定について

産業厚生常任委員会には以上7件が付託され、12月12日に委員会開催。審議の結果、最終日の本会議において委員長から審査結果報告後採決を行い、全議案とも全員賛成で原案のとおり可決されました。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

行政視察を実施しました！

総務文教常任委員会では、令和5年10月31日、11月1日の2日間、行政視察を実施しました。

1日目の静岡県島田市では、賑わい交流拠点整備事業で建設された賑わい交流拠点施設「KADODE OOIGAWA」を視察しました。

2日目は、同県伊豆市で津波避難困難地域である松原公園周辺において、平常時は市民や観光客の交流地点として活用し、災害時には、海水浴客、公園利用者、市民が安全に避難できる施設、松原公園津波避難複合施設(Terrasse Orange Toi)整備概要を視察しました。



【島田市現地視察】 (伊豆市視察の様子:座学・現地視察)

産業厚生常任委員会

行政視察を実施しました！

産業厚生常任委員会では、令和5年11月8日・9日の2日間、茨城県へ行政視察を実施しました。

1日目の坂東市では「デマンドバス事業について」実証実験中の市外病院への運行状況や導入の経緯、現状の問題点等について研修を行いました。

2日目の境町では「自動運転バス実用化から1年。見えてきた成果と課題について」自動運転バスを試乗し安全性の確認を行い、遠隔管理施設を会場として研修を行いました。



【坂東市視察の様子】



【境町視察の様子】

勝浦市議会表彰選考委員会

勝浦市議会表彰受賞者決定

令和5年12月14日に、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、後期分(令和5年7月1日から11月30日の期間)の市内小中学校の児童・生徒を対象とした候補者を学校より推薦していただき、選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお、表彰式につきましては、令和6年3月定例会の初日に、市役所5階の議場において行われる予定です。

- 1. 被表彰者** 豊浜SBC(豊浜小学校5名・勝浦小学校14名)
表彰基準 第34回千葉県小学生男女ソフトボール選手権大会優勝



12月7日			
岩瀬 清 議員	戸坂 健一 議員	鈴木 克巳 議員	戸部 薫 議員
⑦教育行政について	③勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の見直しについて	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について	①本市の防災態勢の現状及び課題について
⑥市職員の市外からの通勤について	②津波避難訓練について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について	①一般廃棄物処理に関する今後の方針について
⑤移住定住対策について	③勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の見直しについて	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について
④国道297線について	②津波避難訓練について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について
③勝浦市の水道事業について	③勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の見直しについて	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について
②ふるさと納税寄付金について	②津波避難訓練について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について
①高齢者支援について	③勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の見直しについて	①勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画について	②市役所窓口業務における市民サービスの効率化について

12月6日			
狩野 光一 議員	長田 悟 議員	久我 恵子 議員	岩瀬 琢弥 議員
③市内交通事情の改善について	②脱炭素化推進事業について	③防災無線について	①災害時における個人情報情報の取り扱いについて
②脱炭素化推進事業について	①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②予防伐採について	①認定特定創業支援等事業の状況および空き店舗等活用支援事業補助金について
①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②脱炭素化推進事業について	③防災無線について	①認定特定創業支援等事業の状況および空き店舗等活用支援事業補助金について
②脱炭素化推進事業について	①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②予防伐採について	①認定特定創業支援等事業の状況および空き店舗等活用支援事業補助金について
①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②脱炭素化推進事業について	③防災無線について	①災害時における個人情報情報の取り扱いについて
②脱炭素化推進事業について	①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②予防伐採について	①認定特定創業支援等事業の状況および空き店舗等活用支援事業補助金について
①急傾斜地や崖、樹木に対する危険対応について	②脱炭素化推進事業について	③防災無線について	①災害時における個人情報情報の取り扱いについて

12月6日・7日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

市政の目玉が聞きたい 一般質問



一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。

全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。

また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。(各議員のQRコードを掲載しています。)



岩瀬琢弥議員

災害対応と個人情報 の取扱いについて

Q 災害時において個人情報を使っているような対応をするようになっていくのか。

A 個人情報保護制度の全国統一のルール及び防災分野における個人情報

の取扱いに関する指針に基づき、災害対応を行います。市としては

消防、警察など関係機関とともに、個人情報保護に配慮すると同時に、

個人情報を活用し、安否不明者の捜索、被災者の救助活動等に当たりま

す。

Q ふだんは民間人ですが、公益性の高い役割を担う方々と情報の提供、共有をする場合、情報漏えいの心配がないか。

A 避難支援関係者には、名簿に登録された個



人情報の適正な取扱いをお願いしているところ

です。

Q 災害時に利用が想定されている個人情報にはどんなものがあるのか。

A 個人情報とは、住所、

氏名、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、

家族構成、病歴、障害など、特定の個人の情報であることを識別できる

情報です。氏名、住所等を公表すると、本人やその家族の生命、身体が危

険にさらされる可能性

がある場合、公表対象者から除外するなど、より

慎重な個人情報の取扱いを行います。

Q 医療機関や通信事業者と連携することも想定されているのか。

A 医療事業者は治療のため必要な治療歴等の情報を家族等から取得し、救命治療に当たります。GPS位置情報は取得することが必要不可欠であると認められた場合に限り、警察、消防等、救助機関に情報を提供します。

Q 外国人がいる場合、通訳できる人材が必要になるのではないか。

A 千葉県では、千葉県

災害時多言語センターが立ち上げられまして、外国人への情報発信等

を行います。市は、通訳ボランティアの方たちとともに支援を行います。

Q シミュレーションしておくことが重要ではないか。

A 今後、個人情報取扱いに特化した訓練等を実施して

まいり

たいと存じます。



久我恵子議員

認定特定創業支援等 事業の状況及び空き 店舗等活用支援補助 金について

Q 空き店舗等活用事業の市独自の支援内容の拡充や、補助金の増額についてお聞きします。

A 勝浦市中小企業融資に関する条例を定め、金融機関と連携した制度融資と利子補給を実施。さらに日本政策金融公庫からの融資の利子補給をして

いる。空き店舗等活用事業補助金の増額については、猛暑日の無いまちとして本市への注目が集まっている今、支援を充実させることは重用と考える。

予防伐採について

Q 令和元年房総半島台風は、樹木の倒木による電柱の破損や断線等で、



市内においても、電力の復旧までに多くの日数を要した。あらかじめ電線近くの樹木を伐採し、停電予防とする予防伐採についてのお考えをお聞きます。

A 台風をはじめとする自然災害による停電は、倒木に起因するものが多く、防災の観点から、電線や道路に倒木が予想される樹木の伐採等を、電気事業者等関係者とともに計画的に取り組んでいくことが必要と考える。

防災無線について

Q 防災行政無線のデジタル化改修事業により、以前と同様の箇所に屋外拡声子局が設置されていない地区では、改修後、音声が届かなくなつた。これに対応するため

に、防災行政無線と同じ内容を伝える無料の防災テレホンサービスの導入が有効と考える。市のお考えをお聞きます。

A 防災テレホンサービスは、電話で防災行政無線の放送内容を確認できるため、スマートフォン等の機器に不慣れな方にも利用しやすいと考える。市民誰もが確実に防災情報を取得できるように伝達手段を構築する必要があると考える。

Q 以前と同じ場所に屋外拡声子局が設置されていない9箇所の設置予定についてお聞きます。

A 防災行政無線のデジタル化により発生した難聴地区の解消については来年度中を目途に取り組んでまいりたい。





長田 悟議員

本市農林業の振興について

Q 農林業における前期

基本計画の令和8年度までの成果指標は、認定農業者数18経営体、新規就農者6経営体、経営耕地面積34,608アールとされているが、現在の成果指標状況についてお聞きします。

A 新規認定農業者1名の増、新規就農者0経営体、経営耕地面積は、農林業センサス数値のため示せない状況であります。

Q 現在の経営耕地面積は20年前(平成12年)

64,724アールと比べ、30,116アールの減、田んぼにおいては22,091アールの減、約4割が休耕田となっている状況であり、



休耕田問題は本市の大きな問題です。

Q 米価の下落、肥料等

の高騰、後継者不足、農業に対する農業機械の高価格の対策として、グループによる農作業を支援することで、経営耕地面積の維持、集落営農の設立に繋がるのではないかと伺います。

A 集落営農は、地域の

農家が農業生産を共同して行う営農活動であり、農地の利用集積による作業の効率化、機械・施設の共同利用による生産コストの低減が期待されます。

農作業のグループ化は集落営農の推進と関連する部分があると感じるので今後、有効性、実

効性を研究して参りたい。



各事業の方向性と財源確保について

Q 本市各事業の方向

性についてお伺いします。
A 総合計画においてその方向性を掲げています。

例として、ごみ処理施設、

し尿処理施設は、広域での処理体制、民間委託等の検討を進める。水道事業は事業統合の協議、道路整備は関係機関に要請していきます。

Q 本市必須の事業に

ついて、その目的達成のための財源として基金を設立することについてお伺いします。

A 目標に向かっての

事業費の財源確保に当たり、基金設置を含め検討・努力を積み重ねていきます。



狩野光一議員

脱炭素化推進事業について

Q 市役所に機器を設

置して、食品ロス削減の検証を行っているが、4カ月を経過した現在の実績とこれに対する評価は？

A 設置は食品ロスの削

減と併せ、意識の醸成が目的。実績は10月末時点で食品ロス削減734品、CO2削減量194kg、CO2であり、一定の効果ありと評価している。

Q 数値に機器の電力

消費や輸送時のCO2排出は算入されているか？

A 食品が消費されず廃

棄、焼却されるまでの排出量は算入されていない。
Q それらを含めた排出量を把握しなければ、今



後の計画上の数値に影響が出るのではないか？

A (食品ロス削減に由来する数値だけでも)今回得られたデータは、計画策定時の参考として活用できると考えている。

市内交通事情の改善について

Q 交通事情の改善は

市の重要な課題であり自身これまで二度にわたり一般質問で、その進捗を尋ねてきたが、いずれも「検討協議を継続する」という主旨の回答であった。以来だいが時間が経過しているが現在の進捗状況はいかがか？

A 令和5年2月に策定した勝浦市地域公共交通計画に基き事業を展開していく。来年9月の

デマンドタクシー契約の満了を見据え、市民アンケートや地区懇談会の結果を踏まえて様々な検討を行っている。

Q 市の努力は承知し

ているが、残念ながら評価できる結果に至っていない。先日「自家用車有償旅客運送制度を活用し交通事情の改善に成果をあげている地域を視察してきた。これまでの取組で大きな効果が得られていない本市の現状を踏まえ、こうした新しい手法も積極的に取り入れるべきではないか？

A 全国的にも様々な施策が行われている中で「自家用車有償旅客運送も含めて、他自治体の参照、交通事業者との協議を重ねながら検討を進めてまいりたい。





戸部 薫議員

本市の防災体制の現状、及び課題について

Q 市民にとって一番大切な生命を守る施策、即ち自然災害から市民の命を守る防災態勢の充実に向けて伺います。第二に、津波に対する本市の防災態勢の現状、及び今後の課題について伺います。

A 本市に最大クラスの津波をもたらすと想定される相模トラフ沿い地震等に対する備えを地域防災計画に基づき対策を進めています。ハード面では避難所の整備、防災無線のデジタル化改修等、ソフト面では、総合防災ブックの作製・配布、避難所物資等の充実、津波避難訓練の実施などを主として防災態勢の整備強化を図っています。



対策や土砂崩れ防止対策の現状、及び今後の課題について伺います。

土砂崩れ防止対策は、特に道路への土砂流入防止対策を中心に伺います。

A 河川及び市道の土砂崩れについては、定期的なもの、と大雨時にパトロールを実施し、状況確認を行っています。市道については「防災カルテにより監視強化」の判定があり、状況変化が生じた場合やパトロールなどにより危険と判断した箇所について対策工事を実施しています。今後市民の安全に努めて参ります。

Q 次に、災害防止のために懸命に働いてくださっている消防団組織の現状について伺います。

A 消防団組織は、勝浦市消防団条例第6条の規定により、本部と、第1分団から第6分団の合計で423人の組織構成です。これに対し令和5年度の団員数は374人で49人の欠員です。令和4年度からは、火災や災害時に限り活動する機能別消防団員制度を創設し、団員定数の充足に取り組んでいます。



Q 火災等が起これば消防団員は、自分の仕事をやめて現場に急行し活動する訳で、団員に対する処遇改善が必要だと思います。現状を伺います。

A 国が定める団員の階級にある者の年額報酬は、3万6500円、本市の一般団員は2万8千円です。消防団員の処遇改善に向けて早急に取り組んで参ります。

Q 次に、河川の氾濫防止について伺います。

A 市原市からは、7月10日付けで協議を行う旨の回答を得ていたが、今後の進め方や公表時期などについて2市2町で慎重に検討し、議員や市民に対しては、9月議会でごにしましたものです。



鈴木克己議員

一般廃棄物処理に関する今後の方針について

Q 9月議会でご、今後の可燃ごみ処理を、現在、整備を計画している市原市へ、処理委託の申し出をしたことの報告があったことについて伺う。

9月議会でご報告するまでの間、議員及び議会に対して、何故、説明がされなかったのか。

A 市原市からは、7月10日付けで協議を行う旨の回答を得ていたが、今後の進め方や公表時期などについて2市2町で慎重に検討し、議員や市民に対しては、9月議会でごにしましたものです。

Q 市原市への申し入れを行う前に、勝浦市としての方向性を決定してからすべきことであると思いが、



市長の考えを伺う。

A 市長就任以来、ゴミ処理施設問題は、最初に取り組むべきものとして、常に危機感をもって取り組んできた。本件については、2市2町の首長との広域ごみ処理施設の協議を踏まえ、市長として最善であると判断した。

Q 市原市に委託する予定のゴミの種類についてはどのよう対応を考えているか伺う。

A 委託するゴミは、可燃ごみであり、その他の資源ごみ、不燃ごみなどについては本市で処理することから、ストックヤードやリサイクル施設などの施設整備について検討してまいります。

Q 今後のクリーンセンター管理運営の計画の対

応について伺う。

A クリーンセンターの適切な維持管理を行う。

市役所窓口業務における市民サービスの効率化について

Q ワンストップ窓口総合窓口の設置について市長の考えを伺う。

A 令和6年1月に、窓口業務の改善を図る。

具体的には、申請書の記載を省略する「書かない窓口」の導入と、証明書の自動交付機をロビーに設置する。

ワンストップ窓口は、来庁者への負担軽減、手続きの円滑化が求められるが、このための職員育成や配置、組織改編など検討を重ねる必要がある。



クリーンセンター



戸坂健一議員

勝浦市新型コロナウイルス感染症対策行動計画について

Q 勝浦市新型コロナウイルス感染症対策行動計画(以下、行動計画)は、新型コロナウイルスや今後予想される感染症パンデミックに対する重要な行動計画だ。今後に備え、時代に即した見直しを図るべきと考えるが如何か。

A この行動計画は、世界的な大流行になるようなウイルス等に対する行動計画であることから、国や県との密接な連携を前提として見直しを図る。

Q 現行行動計画に基づく市の新型コロナウイルス感染症対策記録の公表については、今後重要な指針ともなる。記録の公表をいつどのような形で行うか伺う。

A これまでの記録や資料を整理し、しっかりと取り纏めた上で、来年度には公表したい。



Q 令和2年1月29日の中国武漢帰国者受け入れについての記録も、重要な出来事であり市の公式記録として公表すべきと考えるが如何か。

A 市に関わる記録については公表したい。

勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の見直しについて

Q 勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例(以下条例)を見直すべきだ。特に、近年トラブルが増えている生活騒音や生活悪臭の規定を盛り込み、真に住みよい環境づくりを図るべきと考えるが、市のお考えを伺う。

A 条例制定以降かなりの年数が経っており、市に対する苦情相談も増加している。従って、他の自治体の先進事例を参考にしながら条例の改正について研究していく。

Q 生活騒音や生活悪臭に伴うトラブルは、市民にとっては相談窓口もわからず対応が難しい。市民や関係者にとつて拠り所となる一刻も早い条例改正をお願いしたい。

A 条例改正や新たな条例制定が市民にとつてどのような影響があるかも含め、先進事例を参考に研究する。



移住定住対策について



岩瀬清議員

Q 勝浦市では人口減少対策の一環として、移住定住を促進していると思いますが、どのような取組みをされてきたのか伺います。

A これまで、全国的な移住定住イベント等への参加、住宅環境を確保するための若者等定住促進奨励金や、移住支援事業支援金の支給などを行っております。今年度においては、空き家活用を推進するための地域おこし協力隊を採用し、移住希望者にオンラインでの移住フェアを開催するなどの取組を実施したところです。

市役所職員の市外への通勤について

Q 勝浦市では移住定



住を促進しているなか、かなりの数(約3分の1)の市職員が市外から通勤しているが、この状況をどの様に考えるか伺います。

A 市外から多くの職員が通勤している状況については、職員の居住地については、居住・移転の自由が憲法で保障されており、個々の家庭事情などを考慮すると、人口減少理由に、職員に対し市内への居住を求め、る事は、困難と考えます。

勝浦市の教育行政について

Q 教育長は再選出に

あたり、今後の勝浦市の教育行政の長として、任期3年間をどの様な考えで職務を遂行されていくのか伺います。又、前回の定例議会に於い

て、市立学校の賛助会費について質問致しましたが、今後、賛助会費についてどの様に考えるか伺います。

A 勝浦市総合計画を上位計画とした勝浦市教育大綱に基づき、「学び」「絆」あふれる勝浦を基本理念として、生きる力を育む学校教育の推進、並びに地域の活力を育む生涯学習の推進を基本目標として、職務を遂行していく所存です。賛助会費については、地域での取決めのため答弁する立場ではありませんが、市としては、賛助会費の有無に関わらず必要な教育予算を計上しているものと認識しています。

その他の質問事項
高齢者支援について
ふるさと納税について
水道事業について
国道297号線について

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
佐久間 海吏さん

僕は今までたくさんの出会いと別れを経験してきました。ここまでこれたのは、いつも助けてくれる先生方や、家族のおかげです。先生や家族は、大変な仕事をしながらも自分たちに優しく接してくれます。そんな大人たちを僕はすごいと思います。僕もまもなく高校生になり、高校を卒業したらもう成人です。僕の夢は、誰にでも優しく、強い志で何事にも全力で取り組める自分になることです。今はまだ無理でも、これから頑張り、素敵な人になりたいです。

議会のうごきについて報告します (令和5年11月～令和6年1月)

議会のうごき

11月1日	総務文教常任委員会行政視察(静岡県島田市・伊豆市) ※10月31日～	20日	介護保険運営協議会
8・9日	産業厚生常任委員会行政視察(茨城県坂東市・境町)	22日	広報広聴常任委員会(対談)
9日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会(千葉市)	25日	総合開発審議会
13日	全国過疎地域連盟総会(東京都)	26日	歳末特別警戒出動式
15日	国民健康保険事業の運営に関する協議会		
21日	夷隅郡市負担金審議特別委員会(いすみ市)	令和6年	
22日	勝浦市芸術文化交流センター運営協議会・介護保険運営協議会	1月5日	消防団出初式
29日	議会運営委員会	7日	二十歳を祝う集い
		11日	交通安全祈願祭(遠見岬神社)
12月4日	本会議 初日・全員説明会	17日	広報広聴常任委員会
6日	本会議 一般質問	24日	千葉県市議会議長会研修会(千葉市)
7日	本会議 一般質問	25日	全員協議会
8日	本会議 質疑・全員説明会・議会運営委員会		千葉県南市議会議長会議員研修会(館山市)
11日	総務文教常任委員会	26日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会
12日	産業厚生常任委員会		議会運営委員会・全員協議会(千葉市)
14日	本会議 最終日	30・31日	千葉県南市議会議長会正副議長研修
	表彰選考委員会・広報広聴常任委員会		(静岡県藤枝市)
	議会改革検討委員会		

編集後記

私たちは、議会だよりをもっと皆さんに読んでいただけるように、また読みやすいように工夫していますが、どうしても作る側の視点になってしまいます。ですから、皆さんのご意見ご感想をたくさんいただいて反映していけたらと思っています。そうして一緒になって「みんなのギカイ」を作っていこうではありませんか。

広報広聴常任委員 岩瀬 琢弥

お問い合わせは、勝浦市広報広聴常任委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!

